

## 2021 年度

1. 科目名 (単位数)	ボランティア論 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1350
2. 授業担当教員	佐藤 惟		
4. 授業形態	講義 (ディスカッションを含む)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	今日、わが国においてボランティア活動は大きな注目を集めている。阪神・淡路大震災においてボランティアの貢献度が新たに見直され、以後、学問的なボランティア論としての研究も活発になされるようになった。ボランティア活動は今日、様々な内容に拡大化、多様化しているが、同時にいくつかの課題も浮き彫りにされてきている。本講義において、福祉ボランティアを中心に、活動の現状と課題を探り、今後ボランティアコーディネーターとしての活躍も期待されている福祉系の学生が、必要な知識を会得するよう、講義、視聴覚教材、受講生による発表とディスカッションを通して学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボランティアの意味と特徴、活動の歴史を理解し、説明できるようになる。</li> <li>2. 今日のボランティア活動の現状と、そこにおける課題を理解し、説明できるようになる。</li> <li>3. 実際に行われているボランティア活動のひとつに着目し、深く掘り下げて学習し理解を深める。</li> <li>4. ボランティアコーディネーターに求められているボランティア指導の方法を理解することができる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	①授業内で配布する資料をあらかじめ読んでディスカッションに参加し、自分の意見と他の人の意見をまとめる。②授業で示されたテーマのうち自分の関心のあるものを一つ選び、レポートを作成する。レポートの形式については授業内で指示する。		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 指定しない (資料を毎回配布する)。 <b>【参考書】</b> 小倉常明・松藤和生編著『いちばんはじめのボランティア』樹村房、2005。 巡静一・早瀬昇編『基礎から学ぶボランティアの理論と実際』中央法規出版、1997。 田中優著『幸せを届けるボランティア 不幸を招くボランティア』河出文庫、2017。 岡本榮一・菅井直也・妻鹿ふみ子編『学生のためのボランティア論』大阪ボランティア協会、2006。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボランティアの意味と特徴、活動の歴史を理解し、説明できるようになったか。</li> <li>2. 今日のボランティア活動の現状と、そこにおける課題を理解し、説明できるようになったか。</li> <li>3. 実際に行われているボランティア活動のひとつに着目し、深く掘り下げて学習し理解を深めることができたか。</li> <li>4. ボランティアコーディネーターに求められているボランティア指導の方法を理解することができたか。</li> </ol> ○評定の方法 授業への積極的参加度 40% 課題レポート 30% 期末評価 (レポート・試験等) 30% ※ 東京福祉大学の学則 (第 36 条) に則り、成績評価に必要な出席時間数を満たしていない受講生の評価は行わない。		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正当な理由なく授業を欠席・遅刻・早退をしないこと。やむを得ない事情で欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教師に書面をもって報告すること。</li> <li>2. 授業中は携帯電話や PHS 等の電源は切り、私語・居眠りは慎み、常に緊張感と集中力を保つこと。</li> <li>3. 授業での積極的な取り組みを評価するので、グループ・ディスカッションや意見の発表時には間違いを恐れず、主体的に取り組むこと。</li> <li>4. 授業中に指示された課題の提出期限は守ること。</li> <li>5. 可能な範囲で、自ら積極的にボランティア活動に取り組むこと。施設ボランティアだけがボランティアではない。エコキャップや使用済み切手の収集と提供などもボランティアである。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	授業内で別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	授業ガイダンス (教員の自己紹介、受講生の自己紹介—ボランティア体験や関心のあるボランティアについて、授業の進め方の説明など)、ボランティアの定義	事前学習	これまでの自分のボランティア経験や、ボランティアについて自分が持っているイメージを書き出しておく。
		事後学習	自分が関心を持っているボランティア活動について考え、まとめる。
第 2 回	ボランティアの定義②、ボランティア活動の理念、ボランティアの探し方	事前学習	ボランティア活動の探し方について調べておく。
		事後学習	自分の関心のあるボランティア活動を探してみる。
第 3 回	ボランティア活動の現状、東京オリンピック・パラリンピックとボランティア①	事前学習	東京オリンピック・パラリンピックのボランティアについて調べておく。
		事後学習	東京オリンピック・パラリンピックのボランティアについて学んだ点をまとめる。
第 4 回	東京オリンピック・パラリンピックとボランティア②	事前学習	ディスカッションに備えて配布資料を読んでおく。
		事後学習	ディスカッションで得た様々な意見をまとめ、レポートとして提出する。

## 2021 年度

第 5 回	外部講師による講演：傾聴ボランティアについて	事前学習	電話相談ボランティアや傾聴ボランティアについて調べておく。
		事後学習	講演を聞いて学んだ内容を復習する。
第 6 回	教育とボランティア	事前学習	教育に関わるボランティアについて調べておく
		事後学習	教育に関わるボランティアについて授業で学んだ要点をまとめる。
第 7 回	子どもとボランティア	事前学習	子どもに関わるボランティアについて調べておく。
		事後学習	子どもに関わるボランティアについて授業で学んだ要点をまとめる。
第 8 回	障害者とボランティア	事前学習	障害者に関わるボランティアについて調べておく。
		事後学習	障害者に関わるボランティアについて授業で学んだ要点をまとめる。
第 9 回	高齢者とボランティア	事前学習	高齢者に関わるボランティアについて調べておく。
		事後学習	高齢者に関わるボランティアについて授業で学んだ要点をまとめる。
第 10 回	町内会・自治会、外国人とボランティア	事前学習	町内会・自治会と外国人を対象としたボランティアについて調べておく。
		事後学習	町内会・自治会について授業で学んだ要点をまとめる。
第 11 回	民生委員・児童委員、保護司、その他の地域のボランティア	事前学習	民生委員・児童委員および保護司について調べておく。
		事後学習	民生委員・児童委員および保護司について授業で学んだ要点をまとめる。
第 12 回	日本と海外のボランティアの歴史、ボランティアコーディネーター他	事前学習	ボランティアを受け入れる立場に立って、ボランティア活動を考える。
		事後学習	ボランティアコーディネーターに求められる能力について考え、まとめる。
第 13 回	NPO と企業の社会的貢献(CSR)	事前学習	NPO と企業の社会的貢献(CSR)について各自で調べ、簡潔にまとめてくる。
		事後学習	企業が社会的貢献を行うことの意義について、ポイントをまとめる。
第 14 回	ボランティアのジレンマ	事前学習	ディスカッションに備えて配布資料を読んでおく。
		事後学習	ディスカッションで得た様々な意見をまとめ、自分の意見を深める。
第 15 回	災害とボランティア、まとめ	事前学習	災害ボランティアについて調べておく。
		事後学習	「人はボランティア活動を行う理由」や「ボランティアが社会に存在する意義」について考え、期末レポートをまとめる。
15. 実務経験を有する 教員特記事項	民間の訪問介護事業者での訪問介護員、及び病院における生活相談員、介護職員等の業務経験を活かし、「7」に示す講義概要に則した講義を行う。		